

## 第3章 計画の目標と基本方針

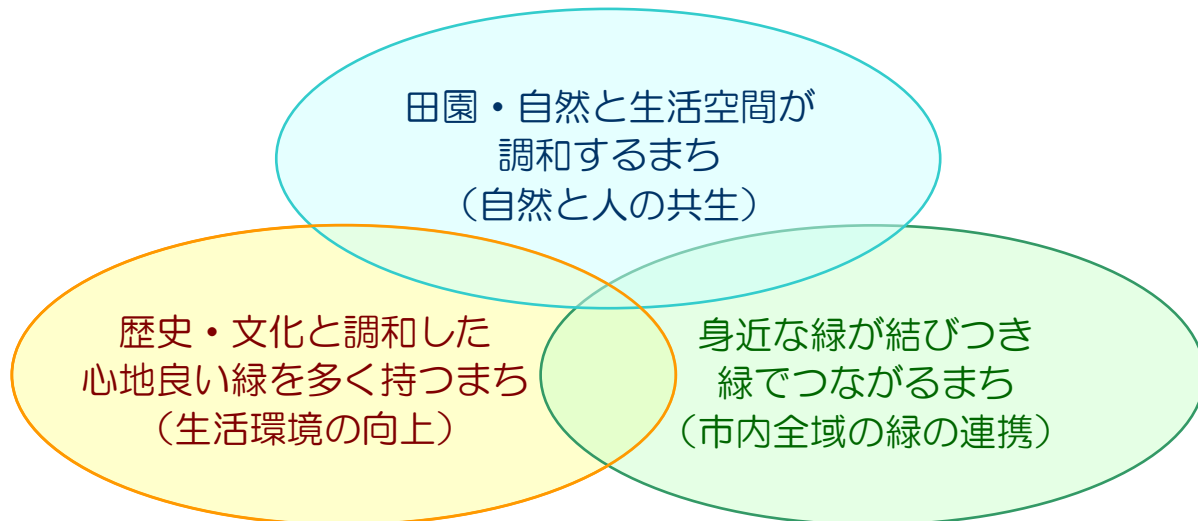
# 第3章 計画の目標と基本方針

## I 計画の基本理念

丸亀市総合計画では、丸亀市の将来像を「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」としています。このような上位計画及び丸亀市の自然環境、緑の特性や歴史的特性を勘案するとともに、社会的潮流や市民意識の変化など現代的計画課題を踏まえ、本計画の基本理念を次のように設定します。

「海と山に包まれた  
潤いのある田園の風土のなかで  
人と緑が豊かに育つまち」

そして、その具体的なイメージとして、次のように想定します。



丸亀市は、讃岐平野の平坦な地形にあって、亀山に築かれた丸亀城を中心とする城下町、また瀬戸内海に面する交通の要所として発展してきました。そして、海に浮かぶ島しょ部と讃岐平野に広がる田園地域を有し、明るい風土と歴史に恵まれています。

また、平野部の周囲を山々が取り囲み、県内唯一の一級河川や自然条件を生かしてつくられてきたため池、水路等が複合して形成され、豊かな緑地環境を維持してきました。

人間にとって自然はなくてはならないものであるとともに、都市において人々が安全で快適な生活環境を確保する上で必要不可欠なものです。緑の役割には、余暇を満喫する空間の創出や災害防止、避難場所の機能だけでなく、まち並みに潤いを与え、人々に安らぎをもたらす等の心理的な効果があると言われています。花や緑の香り、木々で生息する鳥のさえずり、木々の新緑・紅葉などの四季の変化等々、人々は無意識のうちに緑から様々な効用を享受しています。

市民みんなが、花や木を植え、育てて、守っていくことで、自身の生活空間を潤いに満ちた、快適なまちにしていきたい。このことから、本計画は瀬戸内海と周辺の間山々を臨む広やかな讃岐平野の田園地域の中で、人と緑が互いに豊かに育ち、共生していくまちの実現を目指していきます。

#### ・亀山公園から眺望



## Ⅱ 緑の将来像

計画の基本理念に基づき、市域の土地利用や市街化の進展を踏まえて、緑の施策を適切に推進し、次のような多様な緑のまちづくりを目指します。

### ○ 丸亀を特徴づける豊かな緑が守られています。

- ・飯野山や青ノ山、綾歌森林公園等の山が緑の環となり、市の領域を緑が取り囲んでいます。
- ・土器川、大東川、金倉川等が良好な河川緑地空間を形成しています。
- ・瀬戸内海に浮かぶ島しょ部は、美しい多島海景観を維持しています。
- ・丸亀城や中津万象園をはじめ、多様な歴史資源が身近な緑として守られています。

### ○ まちを彩る緑があふれています。

- ・生活に潤いをもたらす緑が近くにあり、いつでも緑とふれあうことができます。
- ・まちのシンボルとなる緑がみんなに愛され大切にされています。
- ・さまざまな花と緑の名所があり、市民や観光客でにぎわっています。

### ○ 海から山までまちの中が水と緑で結ばれています。

- ・海、山、ため池、公園等の緑の核を河川や樹木が結び、人と生物が共生できるまちとなっています。
- ・ため池や里山は、良好に管理され、多くの渡り鳥や多様な昆虫、魚類、動植物等が生息しており、豊かな自然生態系が維持されています。
- ・市民のいのちを支える農地は、よく保全され、山や川を背景に美しい田園景観を維持しています。

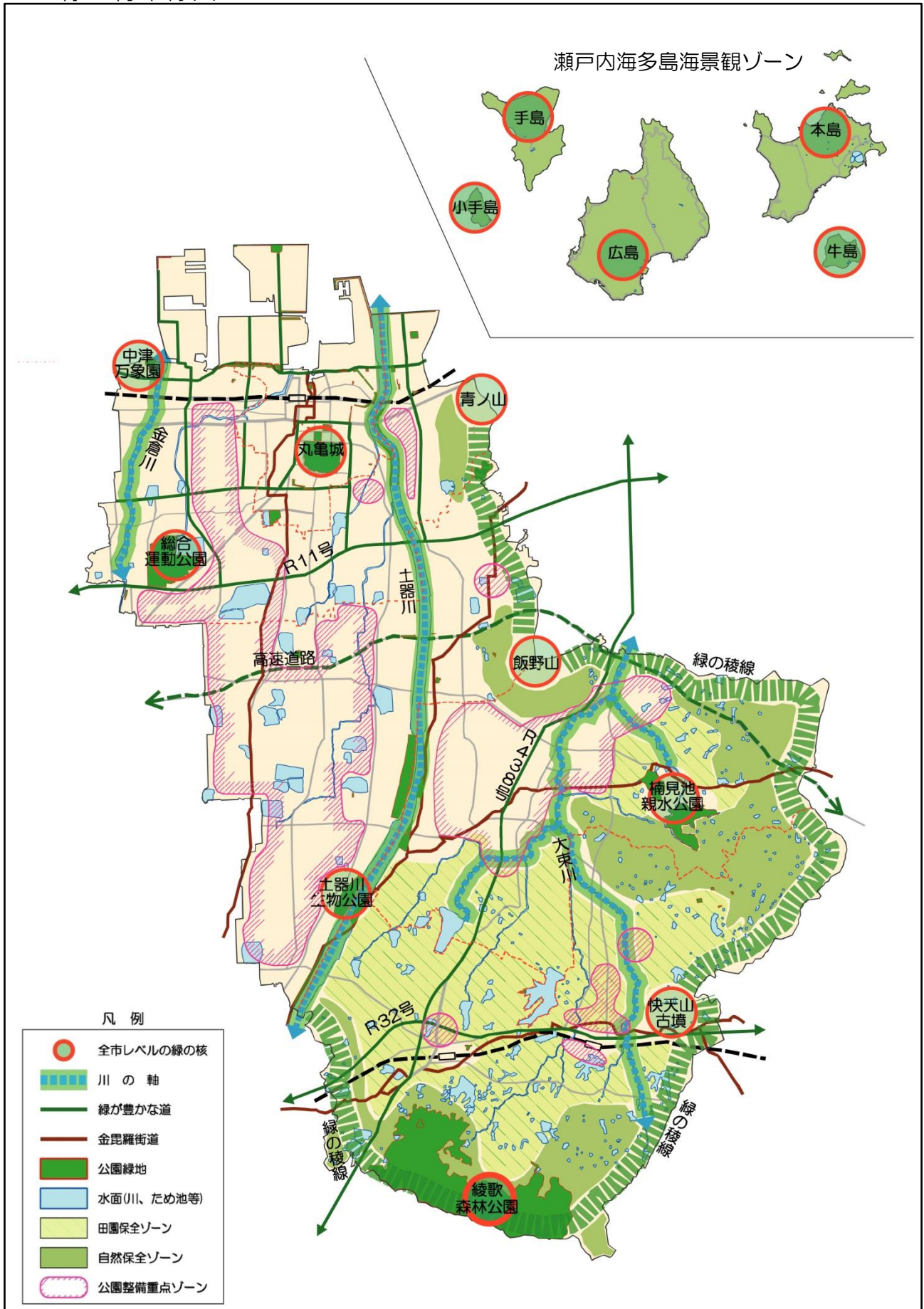
### ○ 市民、事業者が主体となりみんなで緑あふれるまちづくりを行っています。

- ・身近な生活環境において、花や緑を市民一人ひとりが大切に守り、育てています。
- ・緑の環境教育が充実し、緑のボランティア活動に家族で参加するなど、子どもたちは、緑や花をととても大切に感じています。さらに、子どもたちが大人になれば、その思いが受け継がれていき、丸亀の自然豊かな緑を守り育てていくことが約束されています。
- ・市民、事業者、行政が協働により、緑化啓発や公園のボランティア活動等を行っています。

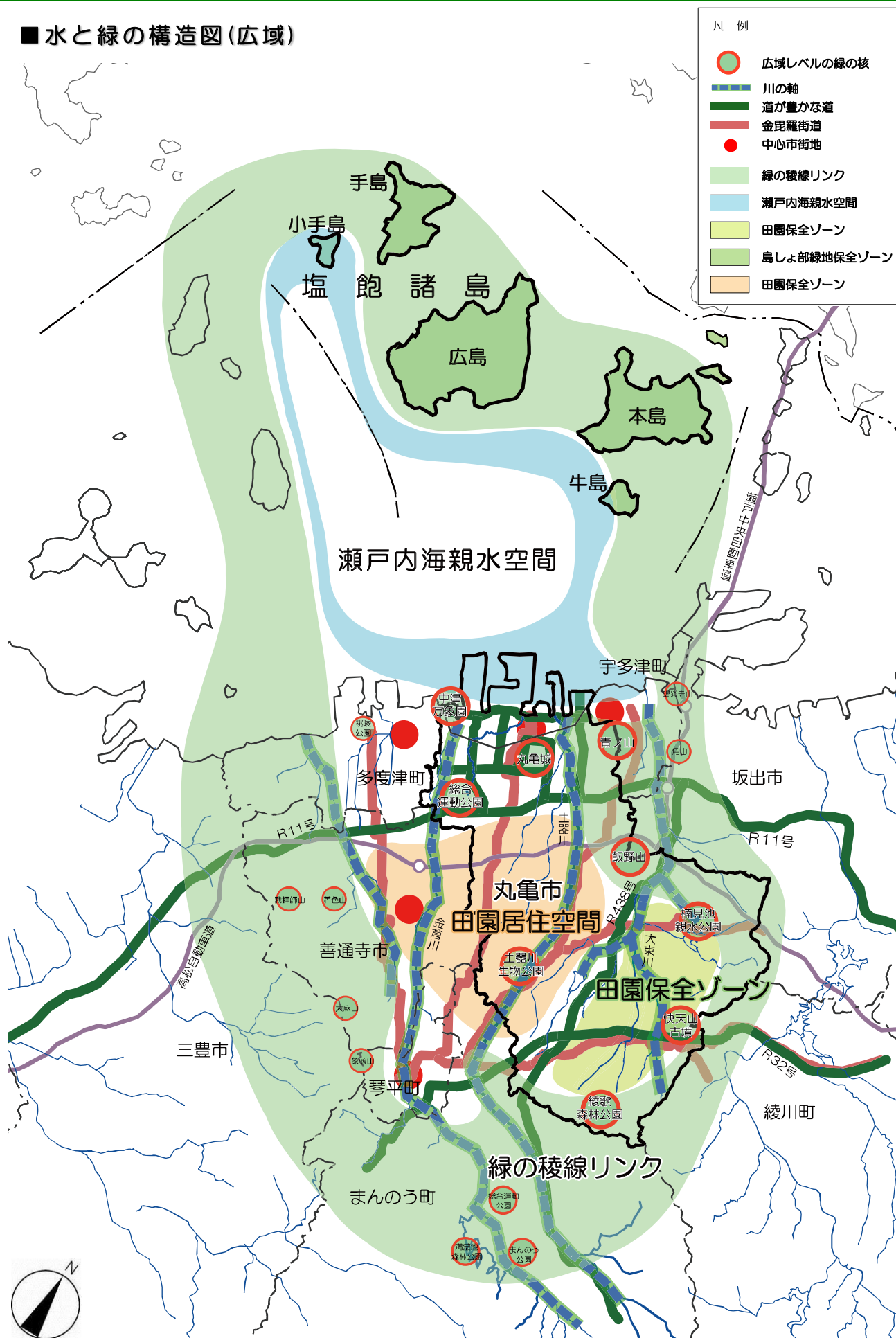
### ○ 安全で安心な緑が整備されています。

- ・住区基幹公園等は、災害に強い緑として防災林やオープンスペースが確保されています。
- ・災害時の避難場所や避難路、災害対応施設が整備されています。
- ・緑豊かで、だれもが安心して遊べる見通しの良い安全な公園が、身近な場所に整備されており、地域の人たちに見守られながら遊ぶことのできる環境が整っています。

#### 4. 緑の将来像図



# ■水と緑の構造図(広域)



### Ⅲ 基本方針

緑の将来像を実現していくための基本方針を次のように定めます。

#### 1. 豊かな緑地環境を保全します。

丸亀市は、北には瀬戸内海、西には金倉川、東と南には青ノ山や飯野山、綾歌森林公園等の山々に周囲を囲まれています。また、土器川が中央を縦断するように流れ、多数のため池が点在し、これらの水辺の周りには豊かな緑地が広がっています。このように、丸亀市は豊かな自然に囲まれ、身近に自然を感じることができるまちといえます。

さらに、丸亀市のシンボルともいえる丸亀城を中心とした亀山公園や、中津万象園、寺町等の古くから形成されてきたまち並みが残っています。特に、寺町のあった地域は、文化財に付随した緑とともに、貴重な文化的資源といえます。また、条里の格子状構造は城を中心とする同心円的に形成され、その大路に沿って樹木が植えられています。一方、市街地より南には田園風景が広がり、市民の生活を支えています。

このように、丸亀市は緑が豊富なまちであり、これらが豊かな都市環境を支え、かけがえのない貴重な資源であることから、豊かな緑地環境を守っていきます。



#### 2. 生活空間を彩る緑を創造します。

住宅の生垣や庭木、商工業施設や公共施設の緑は、日々の生活空間の中で最も身近にある緑であり、暮らしを彩り、潤いのあるものにしていきます。よって、市民や事業者が主体的に緑化に取り組めるように、緑化活動に対する支援の充実を図り、多くの地域で緑を活用した美しい景観形成を進めていきます。

また、身近な公園緑地は、生活の中で憩いの場、交流の場となるなど地域の重要な施設であることから、地域住民と一体となり整備や管理について取り組みます。整備を進めるとともに、整備の際にはユニバーサルデザインに配慮し、幼児から高齢者まで気軽に利用できる身近な公園緑地の整備を推進します。



### 3. 心を豊かにする緑を育成します。

人々は古来より、色とりどりの花や紅葉など、緑の多様性や四季の変化を楽しみ、心躍らせてきました。今、我々が日常的に目にする住宅の花壇や街路樹等のまちの中にある緑は、それぞれが守り、長い年月をかけて育ててきたものです。市内でも、亀山公園や中津万象園などには歴史を感じさせる質の高い緑が存在しています。

このため、それまで受け継がれてきた緑や、新たに創出した緑を将来に向けて良好に維持していくことが求められており、市民、事業者、行政などの様々な主体が連携し、協働による緑の育成に取り組めます。

そして、ボランティア制度の充実や、ボランティア同士の活動ネットワークづくり等、緑の育成に向けた仕組みづくりを推進するとともに、さらに一人でも多くの市民が緑に関心を持ち、活動できるような基盤をつくり、持続可能なものにしていきます。



### 4. 魅力的で親しみのある緑を活かします。

公園緑地をはじめとする緑は、市民が緑とふれあえる場として、また、人々の交流の場や健全な活動の場として大切な役割をもっています。市民、事業者、行政等の協働で守り、創り、育ててきた緑は、市全体の誇るべき貴重な財産として、効果的な利用を促進していきます。

そして、地域住民と協力しながら、地域に根付き、親しまれる公園づくりを進めるとともに、緑に関する情報提供の充実を図り、多くの人々で守り育ててきた緑や新しく創った緑が、より一層活用される仕組みをつくり、全市民が緑とふれあうことを目指します。





## Ⅳ 計画目標の設定

ここでは、香川県の中讃広域都市計画区域マスタープラン（2012(平成 24)年策定）を参考にして、丸亀市域の緑地確保の目標水準を設定します。

### ① 緑地の確保目標

農地、山林、水面等の自然系緑地を含めた全緑地の確保目標水準は、2011(平成 23)年策定時の目標である「市域面積の25%」を大きく上回っております。

現在の丸亀市は、中心市街地以外は山林、農地、水面が豊富であるため、中心市街地の緑を充足させるとともに、市全体の緑地量は現在の緑地量を保つことを目指します。また、質的には、緑の適正な維持管理等により、緑の質を向上させることを目標とします。

#### ■ 丸亀市の緑地確保目標

緑地の確保目標: 2,795ha (市域面積11,180ha×目標水準25%)

現況緑地面積 8,370.28ha  
(緑地率: 74.9%)



現 状 維 持  
(質の向上)

### ② 都市施設としての公園緑地の確保目標

都市施設としての公園緑地は、本市全体で1人当たり37.5㎡あり、これは香川県の目標水準20㎡/人を上回っており、全市の公園緑地の面積としては現状維持とします。

ただし、地域別にみると、1人当たりの公園面積は地域的に大きな格差があり、身近な公園が不足している地域での公園整備を目指します。また、市民、事業者との協働による継続的な維持管理等を推進することにより、公園緑地の質の向上を目標とします。

#### ■ 丸亀市の公園緑地の確保目標

現況公園緑地面積  
412.28ha



現 状 維 持  
(質の向上)

参考: 香川県の目標水準に基づく丸亀市の公園緑地面積: 213.4ha  
(2026年度将来人口106,700人×県目標水準20㎡/人)

